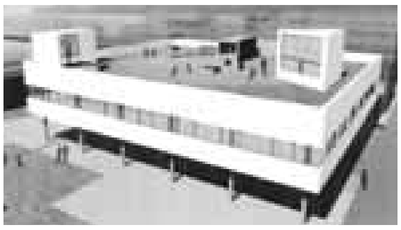
まちかど・ズームIN！

（仮称）ふれあいプラザ建設工事起工式

こころ豊かなまちづくり

４月18日、本町地区に建設する（仮称）ふれあいプラザ建設工事の起工式が行われました。

（仮称）ふれあいプラザは、親子のふれあい・子育ての支援、そして高齢者が生きがいのある充実した日々を送るための環境整備を目的とした施設です。



従来は、郊外に立地することの多かった福祉施設を市の中心部に建設し、中心市街地の活性化をも目指す施設です。施設のオープンは来年４月の予定で、同じ敷地にはデイサービスセンターも整備されます。

生ゴミ資源化施設建設工事安全祈願祭･起工式

食と農の大切さを実証体験

福岡長袋（学校給食センター北側）に整備する、自治体としては全国初の生ゴミ資源化施設の安全祈願祭・起工式が5月9日に行われました。この施設は、市内の旅館やホテル、事業所などから分別回収した生ゴミをメタンガスと二酸化炭素を主成分とする「バイオガス」に分解し、エネルギー転換して温水や電力を生みだす施設です。

完成は来年３月下旬の予定で、学校給食センターや、すでに敷地内に完成している温室に温水を供給し、学校農園や親子農園づくりなどを通じて、食と農の大切さを実証体験できる施設となります。

市の花「ヤマブキ」を植樹

「白石市みどりの日」

「白石市みどりの日」事業として、五月晴れの4月29日、大平1区自治会の皆さんら約50人により、市の花である「ヤマブキ」100株が、城南集会所敷地内に植樹されました。

今年で３回目となるこの事業は、平成９年に開催された全国植樹祭を記念して、「市民ひとりひとりがみどりを守り、育てる」という緑化思想の高揚と緑化の推進を図るため行われているものです。今後、大平１区自治会の皆さんが樹木の維持管理にあたります。

400年の歴史を今に伝えて

小原の「百矢納め」

4月28日、市指定文化財（無形民俗文化財）の、小原に約400年前から伝わる神事「百矢納め」が新町地区の愛宕神社で行われました。

同神社を始め,5つの神社が指定を受けていますが、それぞれの氏神毎に旧暦の祭日に催される祭礼で、家内安全、五穀豊穣、交通安全などを祈願するものです。

新緑のさわやかな晴天の下、神社の木立に囲まれた中で矢が放たれ、矢が当たるごとに「アタリ」という声が森の中に響いていました。

ペットボトルがカラフルな風車に！

いきいきプラザ「リサイクル教室」

いきいきプラザで5月11日、リサイクル教室が開催され、参加者は、ペットボトルから、カラーテープなどを使って風車を作りました。

出来上がった風車は、赤や青、緑に黄色と、とてもカラフルで、試みに手に持って走るとクルクルと勢いよく回っていました。

リサイクル教室は、「牛乳パックを利用したカード入れ」や「廃油から作るリサイクル石けん」などがこれから開催されます。皆さんも参加してみてはいかがですか！

市民に親しまれる「能」に

第２回ふれあい能楽セミナー

碧水園で４月20日、第２回ふれあい能楽セミナーが開かれ、観世流能楽師の小島英明さんが、室町時代から始まる能楽の歴史や、「シテ方」「ワキ方」などの能の役について解説しました。

また、参加者が実際に舞台の体験をしたり、小島さん自身が６月８日に碧水園で演じる能「敦盛」の面や衣装の実物解説を、「源氏と平家では、烏帽子の向きが逆」といった例を交えて説明し、分かりやすく親しみやすいセミナーとなりました。